

# 岡山市政に 若い力。

岡山市議会議員

# 高橋 雄大



## ごあいさつ

たくさんの思いと決意を胸に挑戦した 2011 年統一自治体選挙。

岡山市が政令市となり最初の挑戦で、最年少で議席をいただきました。

社会との関わりの中には、政治に対してどう関わるのかということが大きく含まれています。地域主権への大きな時代の流れの中で、私たちの最も身近なところから時代に合った岡山市のしくみを創っていくために、多くの皆さんとお会いし、声をいただきながら、常に現場で汗を流し、現実を知る活動を理念に精一杯躍動していきます。

東日本大震災が起こり、実際に被災地でボランティア活動をしながらか強く感じたことは、政治家には、人の痛みや苦しみを、自分のこととして理解できる力が必要であるということ。こんな時こそ政治家の『想像力』が問われます。我々は常に世界のあらゆる土地で、現在苦しんでいる人と共に、痛みを分かち合わなければならない。

淘汰されて強いものだけが生き残ればよいという発想は、人間社会で本当に大切な人と人とのつながりを失わせてしまいます。

今こそもう 1 度大切なつながりを取り戻さなくてはなりません。希望と安心感を持って人が集まってくる岡山市を創ること。みんなのことはみんなで作る。旧来型の政治ではなく、徹底した透明性を確保し、活動が見える身近な岡山市政を必ず実現します。

私にはこの胸いっぱい思いがあります。この 4 年間走り続けるフィールドを与えていただきました。高橋雄大の『全力疾走』にどうぞおつきあいください。

これから走り続ける私の未来は、皆さんと共にあります。

## 高橋 雄大

## 高橋雄大活動報告



2011 年 5 月 28 日(土)  
東日本大震災の被災地、  
宮城県南三陸町で、仲間  
たちとボランティア活動。

2011 年 7 月 16 日(土)  
地元地域の夏祭りに参加。  
浴衣姿の子どもたちに囲まれ、岡山  
市の未来を語る。



地元の交差点や橋などで、毎朝通勤・  
通学中の皆さんに市政報告。手を  
振っていただけると元気が出ます。

いつも、活動をともにする、  
仲間たちと津村啓介代議士。



汚泥の詰まった用水路で、地元  
の皆さんが困っている。  
問題解決のために、現地を視察  
してきました。



街頭でも、市政報告。  
これからの、未来を担う子どもたち  
に元気をもらっています。



市議数名で、政策諸課題に  
ついての勉強会。



## ミニ集会開催のお願い

皆さんと直接の対話と交流を通じて、高橋雄大の思いや政策をお話する機会を作らせていただくために、ミニ集会を積極的に開催していきます。

また、皆さんが参加される集まりに是非呼んでください。ご意見・ご要望をお聞きするため、どこへでも飛んでいきます。



高橋雄大 岡山市政に若い力。 オフィシャルブログ <http://ameblo.jp/boasorte19810411/>

## 高橋雄大 若い力



日々の政治活動の記録や日常生活の事など  
情報発信しています。是非ご覧ください。



## 高橋雄大事務所(連絡先)

〒703-8271 岡山市中区円山 87-17  
TEL: 086-277-9900  
FAX: 086-277-9966

## 高橋 雄大

1981 年 4 月 11 日生まれ  
民主党岡山県連公募合格第 1 号  
衆議院議員津村啓介岡山市担当秘書を経て  
2011 年岡山市議会議員選挙で初当選(現在 1 期目)

# 高橋 雄大 初登壇

岡山市議会議員として初議会となった6月定例議会で新人ながら大トリの最終質問者として登壇しました。



**高橋雄大は環境消防水道委員に。豊かな循環型社会構築調査特別委員会では新人ながら副委員長に就任しました。**（5月18日臨時市議会）

**環境消防水道委員会**とは、岡山市の環境・消防・水道局に関わる事項を所管する常任委員会です。今委員会の大きなテーマは、3月11日に発生した、東日本大震災への支援。そして、本市の新たな地域防災計画の見直しを図るための、震災に係る被害想定調査等に関する事項の報告がありました。

高橋雄大からは、継続した支援はもちろん、本市に避難してこられた被災者の方へのきめ細やかな対応。とりわけ、市営住宅提供についての期間延長の条件やその有無について、あるいは積極的な受入れのための、オペレーションのあり方について提案し、**被災者の方の自立支援のサポートにつながるよう要望**しました。

また、委員会での審査の過程では、東日本大震災に係る被災地への、職員派遣経費について議論となりました。

南海・東南海地震に、東海地震を加えた3連動型の大地震を想定した、新たな地域防災計画に関しても、皆さんから生の声をいただき、さらに調査を進めながら、策定に全力で取り組みます。

未曾有の震災による、原子力発電所での大事故は、世界のエネルギー政策をも変えてしまうことになりました。

私たちの職場や生活の中での意識改革や、ライフスタイルの改革が求められているいま、**晴れの国**の特性を活かした、岡山ならではのエネルギー政策についても、今後大いに議論が必要になります。私たちの暮らしや、何よりも**子どもたちの未来のために**、安全なエネルギーを考えていくこと。高橋雄大は、全力で取り組みます。

その他、環境局が取り組んでいる、2002年に日本が提唱した、世界と地球市民が取り組むグローバルプロジェクトである『国連・ESDの10年』。

2014年に『ESDの10年・全体総括会議』を日本で開催することが決定しています。

岡山市では、この会議の**誘致に向けた取り組み**に力を入れています。

一人一ひとりが、私たちの暮らす未来について、自分の頭で考える能力を育み、自然と命のつながりを感じ取って、他者との関係や、多様な生き方を学ぶ大きなきっかけを掴むため、会議の誘致は必要な活動です。高橋雄大も全力でサポートします。

## ESDとは？

「持続可能な開発のための教育」(Education for Sustainable Development)の略称です。「わが国における「ESDの10年」実施計画」では、ESDを「一人ひとりが、世界の人々や将来世代、また環境との関係性の中で生きていることを認識し、行動を変革するための教育」と定義しています。環境教育を発展させ、経済・社会の観点を盛り込み、学習者一人ひとりが持続可能な社会づくりに参画する力を育むことを促すことで、ESDを推進することを目指しています。

## ① 社会福祉事業について

子育てしやすい自治体であるための母子家庭支援事業について等

## ② 教育行政について

中学校武道必修化に伴う安全性の確保について等

その他震災避難施設として機能する小中学校の体育館のあり方についてや区役所の整備について質問しました。

社会福祉事業についての質問では、**母子家庭世帯への日常生活支援事業を岡山市で導入するよう提案**しました。日常生活支援事業とは、小さいお子さんの疾病等による、一時的な家事援助や保育サービスを行うものであり、他の多くの政令市では既に導入されています。

人が住みたくなる「まち」の大きな条件は『**子育てがしやすい自治体**』であることです。

我々責任世代が、しっかりと未来への舵取りをしていかなければならない中で、安心して子育てができる環境を整えることこそが、**高齢者の皆さんを支える**共生社会を実現することにつながると考えます。

平成24年度から武道（柔道・剣道・相撲の中から各校が選択）が、中学生の授業で必修化されます。その際の安全確保の取り組みにつき、教育長と議論になりました。

この約30年の間に、授業や部活における柔道の指導中に、全国で114名の子どもたちが亡くなっています。礼に始まり礼に終わる、規律の育成や**日本の伝統文化**を学び、相手を尊重する精神を養うという、武道教育の本質的な目的の達成のためにも、しっかりと**安全性が確保**される必要があります。保健体育科の先生たちに、実技研修あるいは研究発表会に参加していただくことで、指導力向上を図り、安全管理や、けが防止を重点とした岡山市独自の講義と実技研修を行うという教育長の回答でした。しかし体育の先生が1人しかいない小規模校は、必ずしもその先生が武道経験者とは限りません。命に関わることには不断の努力が必要です。



今後の安全対策の取り組みに関しても、しっかりとチェックし議論していきます。（市議会だより23年夏号に掲載されています）